

# 後援会便り

第22号 (特別号)

発行所 社会福祉法人  
札幌慈啓会後援会事務局  
中央区旭ヶ丘5丁目6番51号  
慈啓会法人本部内 (Tel.561-8291)  
発行日 令和元年7月

## 令和元年度定期総会から

令和元年六月七日(金)午後二時より慈啓会特別養護老人ホーム本館会議室において、令和元年度定期総会を開催致し、三十年  
度決算、令和元年度事業計画・予算等の議案を審議し、無事可決  
致しました。

また、役員の改選が行われ、この度杉野目会長が退任し、横山  
副会長が新会長に選任されました。

杉野目会長には、本場に長い間ご協力いただきありがとうございます  
이었습니다。

### 【会長挨拶】



杉野目 浩

本日は皆様ご多忙のところ、ご出席  
賜り誠にありがとうございます。早く  
も第二十二回目の総会の季節が巡って  
まいりました。本年は櫻も早く、素晴  
らしい新緑の季節にこの総会で皆様と  
お会いできますことは大変嬉しいこと  
でございます。

昨年度も皆様のご支援を賜りまして、会費、ご寄付合せ  
て三三六件、四六〇万円を越す多額のご寄金を頂戴いたしました。  
会費、ご寄金の内訳に付きましては事務局嶋影さんから後程詳し  
くご報告がございます。諸事ご多端の折、ご厚志まことにありが  
とうございます。厚く御礼申し上げます。

ご承知のように、二〇一一年度から、頂戴したご寄金は、全額、  
慈啓会本部に繰り入れさせていただき、各施設の整備費用や借入  
金の返済の一部など慈啓会福祉事業推進の大きな力として大切に  
使っていただいております。

ところで、この後援会は一九九六年十一月二十日五時半エクス  
ルホテル東急で設立総会を開き、会則、役員を決めて発足し、今  
年で二十三年目ということになります。私は太田真琴理事長から

ご依頼を受け、会長をお引受けして今日に至りましたが、この総会  
をもって退任させて頂きます。長い間、ご支援、ご協力を賜り誠に  
ありがとうございました。



退任時には長年の感謝を込めて  
慈啓会太田副理事長より  
花束の贈呈がありました。

発足当時は慈啓会病院、養護、特  
別養護の三施設のみと記憶しており  
ますが、太田理事長のリーダーシッ  
プのもと法人の皆様のご努力により  
一九九七年から始められた慈啓会の  
保健、医療、福祉事業の一体化、施  
設の改築、新設から保育園新設まで  
の大事業の完成を在任中拝見できた  
ことは幸運でした。この二十三年間、  
寛容にご支援を頂戴し、浄財をお寄  
せ頂いた檀家、会員の皆様、長い間  
お世話になった歴代の後援会役員、

委員の皆様、慈啓会事務局各位のご協力に厚く御礼申し上げます。  
毎年同じことを申し上げて恐縮ですが、「社会福祉法人札幌慈啓

会」は、北海道における社会福祉事業のパ  
イオニアでございます。今日は引き継いで  
下さる横山新会長にお出でいただいております  
ますが、助け合いの仏教精神に基づいた慈  
啓会福祉事業の維持、発展のため、新会長  
に対しこれまで以上に皆様の格段のご協  
力、ご支援をお願いいたし、後援会の発展  
をお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせて  
頂きます。長い間ありがとうございました。



今年度より新会長に就任された横山昭氏



# 支えて頂いている 人と組織

## 地域の施設



幌西ほうおん  
施設長 伊藤麻子様

当事業所は知的障がい者の通所施設として平成29年4月に開設いたしました。事業所のあるこの土地は、大正7年に開設した札幌報恩学園発祥の地でもあり、実はこの頃より慈啓会さんとはご縁がありました。そんな繋がりもあり昨年度は、慈啓会さん主催のお祭りに参加したり、イベント開催場所として当事業所併設のカフェを利用していたなど、交流の機会をいただき大変感謝しております。これからも『出会い』と『つながり』を大切に、慈啓会さんをはじめ、地域の方々との交流を深めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



## ボランティア



北海道民放クラブ  
前会長 和田 朗様

毎月第3水曜日の午後、4階の食堂で「むかし、むかし、コタンに住むおじいさんが…」などと紙芝居が始まります。もう20年以上も続いている北海道民放クラブ社会活動部会の紙芝居です。民放クラブはラジオ・テレビの退職者の親睦の為のクラブですが、現役時代に培った技能を生かして社会貢献を目的に活動しているのが社会活動部会です。平成5年から札幌慈啓会様をはじめ市内各地で公演してきましたが、手作りの紙芝居はオリジナルを含め今では70本近くになりました。私も米寿を迎えメンバーの老齢化も進み残念ながら上演回数を縮小しておりますが、これからもお年寄りの笑顔を楽しみにお伺いしたいと思えます。



## ボランティア



北海道ボランティアアドッグの会  
前本 智恵美様

私達「北海道ボランティアアドッグの会」は老人ホームや病院を訪問し犬との触れ合いを通じて動物介在活動をしております。犬種は様々で普通の家庭犬ですが適性検査、検体を通った犬達です。

この活動を通して普段無表情の方が笑顔になったりお話したり、時には涙を流されたりと小さな奇跡を目にして感動する事が多々あります。また、利用者さんや施設の方に「待っているよ、又来てね」と声をかけて頂けるのも私達の励みになり毎回ほっこりとした気持ちになって帰らせていただいています。これからもどうぞよろしくお願います。



## 後援会



会長 杉野目 浩様

平成30年度も皆様の多大のご支援を賜りました。諸事ご多端の折、ご厚志まことにありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

後援会は1996年11月20日に発足し、今年で23年目になります。私は会長をお引き受けて今日に至りましたが、この度退任させて頂きます。23年間、寛容にご支援を頂戴し、浄財をお寄せいただいた皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

新会長の横山氏に対しこれまで以上に皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。後援会の発展をお祈り申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。長い間ありがとうございました。





